



TITLE:

中世ニ於ケル賣買ノ擔保

AUTHOR(S):

三浦, 周行

CITATION:

三浦, 周行. 中世ニ於ケル賣買ノ擔保. 經濟論叢 1917, 4(2): 294-298

ISSUE DATE:

1917-02-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127156>

RIGHT:

京都帝國大學法學科大學

經濟論叢

第二號

第四卷

大正六年二月一日發行

論說

『經濟學者ノ第一思想』ヲ讀ム……………	法學博士 河上 肇
官業問題ニ就キテ(二)……………	法學博士 神戶 正雄
體質廢頽問題(二)……………	法學博士 財部 靜治
經濟心理學ノ組織的研究(二)……………	米田 庄太郎
消費ニ關スル學說ノ發達(二)……………	瀧本 誠一

時事問題

減債基金論……………	法學博士 小川 郷太郎
日支經濟關係ノ真相……………	法學博士 戶田 海市
關西商業會議所聯合經濟調查會事業概況……………	法學博士 神戶 正雄

雜錄

經濟雜話(八)……………	法學博士 田島 錦治
中世ニ於ケル賣買ノ擔保……………	文學博士 三浦 周行
不換紙幣ノ價格ニ付テ河上博士ニ答フ……………	法學博士 戶田 海市
米ノ卸賣價格ト小賣價格……………	法學士 河田 嗣郎
植民國トシテノ丁抹ノ末路……………	山本 美越乃

中世ニ於ケル賣買ノ擔保

三 浦 周 行

鎌倉時代ノ永仁五年ニ幕府ガ德政令ヲ發布シテ所領ノ質入・賣買ヲ無効トシ、コレヲ無償ニ本主ニ取返スヲ得ルコトトシタリシヨリ、賣買契約ノ當事者ハ或ハ賣券ト同時ニ讓狀ヲ與ヘ表面德政令ノ及バザル讓與ヲ裝ヘルモアレバ、又賣券ノ文中德政令ノ行ハルル場合ニモコレガ取返ヲ求メズ、若シクハ本錢ヲ返還スベキヲ確保セルモアリ。永仁ノ德政ハ發布後僅ニ一年ニ

シテ撤廢セラタリト雖ドモ、其深刻ナル印象ハ神經過敏ニ陥リ易キ經濟界ニ於テ容易ニ拂拭セラルベキモノニアラズ、加之室町時代ニハ一層債權者ニ不利益ナル德政ノ頻々トシテ行ハレタレバ、德政擔保ノ因襲的文言(所謂德政文言)ハ江戸時代ノ賣渡證文ニ迄尙ホ其跡ヲ絶タザリシナリ。

然ラバ此德政令ノ發布以前ニ於ケル賣買契約ノ一方ノ當事者ハ他ノ相手方ノ德政以外ニ被ルベキアラユル損害ニ對シテ如何ナル義務ヲ負ヒタリシヤ、コレヲ高野山文書(實簡集、續實簡集、又續實簡集)其他ノ文書ニ徴スルニ、多クハ從來ノ慣例ニ依リテ賣主ヨリ或代價(直錢・直米)ヲ以テ、買主ニ永代賣渡ヲ了セルコトヲ表示シ、將來此賣買ニツイテハ何等ノ變更ヲ生ズル恐ナキヲ保證シ、其所領ニ關スル一切ノ證書(本證文トイフ)既往ノ賣買・讓與等スベテ所有權ノ移轉ニ關スルモノヲ添ヘ、且ツ後日ノ證驗ニ代ヘンガ爲メ(爲後日龜鏡トモ書ス)新ニ賣券ヲ作ルコトヲ記スヲ例トセリ。コレヲ放ニ新券文ニ

トイヒシガ、又約シテハ放券トモイヒ、沽却ト同一ノ意義ニ使用セラレタリ。例セバ長樂寺文書永仁三年十二月二十一日ノ幕府ノ御教書ノ如キ)賣主ニハ夫又ハ子ノ連署スルコトアルモ賣買双方ノ當事者ガ連署スルハ稀レナリ。而シテ此證書カ若シ賣買ノ目的物タル土地以外他ノ土地ニ關聯スルモノ(コレヲ類地トイフ)アリテコレヲ買主ニ交附シ難キ場合ニハ賣主ハ其證書面若シクハ裏ニ賣渡ノ事實ヲ記入シ、(コレヲ毀ニ破其面トモ封其裏トモイヘリ)其ノ賣券ニ之ヲ副ヘテ交付シ難キコトヲ附記シタリ。サレバ賣主ノ一般の保證以外ニ擔保ト認ムベキモノナカリシガ、其中ニハ又往々賣主ノ一般の保證ニ止メズシテ具體的ニ本直ノ返納ヲ約セルモアリ、例セバ續寶簡集安貞三年十二月二十三日ノ僧長院ノ賣券ニ、若相違出來時者可本直返納也ト記セルガ如シ。

本直ハホンジキト訓ミ、直錢若シクハ直米ノ謂ナリ、故ニ本錢トモ本物トモイヘリ。而シテ此賣主ヨリ買主ニ向ツテ本直ヲ返納スベキ場合

ニツイテハ若出來他妨之剋者トモ、(後日若有他妨者トモ)若此地有他相違者トモ、(若後日地相違トモ)若此地相違出來者トモ有違目時者トモ若此地ニ後日ニ違亂出來之時ハトモ若件同地不當直錢相違出來之時者トモ)其文章一定セズト雖ドモ、何レモ皆賣買當事者ノ豫期セザリシ缺陷ヲ生ゼシ場合ヲイヘルニ外ナラズ。

今假リニ此種ノ缺陷ヲ生ズベキ場合ヲ數ヘンニ、例ヘバ賣買ノ目的トナレル同地ニツイテ他ニモ買主アリ、又ハ賣主以外ニ所有者アリタル場合ハ他日情權若シクハ所有權ノ爭ヲ生ズベシ。賣主ガ後日若有地妨者云々トイヘルハ此種ノ場合ヲ豫想セルモノニシテ、向後若甲乙之濫訴出來者更不可有信用者也トスルガ如キ亦然リ。又證書面ニ記入セラレタル田地ノ高若シクハコレニ對スル一年間ノ負擔額(公事課役)ニ相違アリタル場合モアラン。其他賣買契約ヲ變更スベキ一切ノ場合ハ皆此賣主ヲシテ本直返納ノ義務ヲ負ハシムベカリシナリ。

然レドモ所謂本直返納ハ前記ノ場合ノ外、賣

買契約ノ初ニ於テ賣主ガ本直ヲ辨償スレバ何時
ニテモ買戻シ得ルコトヲ條件トセルモノアリ。
高野山文書又續寶簡集ニ寛喜元年十月十五日僧
良心ノ處分狀(讓狀)ニ同人ノ相傳領掌セル田地
一段ヲ年來師弟ノ關係アルニ依リ成辨ニ讓與ス
ル旨ヲ記シ、限永代宛行畢ト見エタルニ拘ラズ、
末文ニ但返陸斛米之時ハ彼之田ヲハ本主可返之
狀如件ト附記セリ。而シテ寶治元年十月十日成
辨ノ去渡狀ニハ成辨ガ本直米ヲ返サレタル爲メ
此田地ノ所有權ヲ坂上太子ニ移轉スルコトヲ載
セタリ。坂上太子ハ即チ良心ノ處分狀ニ見エタ
ル本主ニシテ最初ノ契約ニ基キ、六石ノ本直ヲ
支拂ウテ、其田地ヲ買戻シタリシモノナラン、
寶治元年ハ寛喜元年ニ後ル、コト十八年、良心
ガ此田地ヲ買收セシハ良心ノ成辨ニ讓リシヨリ
以前ナルコト言フ迄モナケレバ、最初ノ買戻契
約ハ其後幾年ヲ經、所有者ヲ代フルモ尙ホ有效
ナリシナリ。稍後ノモノナガラ高野山文書續寶
簡集ニ收ムル文永八年十二月六日入寺寛俊ノ賣
券ニ但於此地違亂出來之時者、可返本直、又欲

(實)

買返本主致本物之沙汰之時者、不可有恠惜ト見
ユルハ此種ノ賣券ニ記サレシトコロナラン。
本直返納ノ外ニハ稀レニ本直ノ一倍ヲ辨償ス
ベキヲ保證セルモノアリ、例セバ高野山文書續
寶簡集ニ收ムル仁治二年三月十八日僧隨念ノ沽
券ニ、若此地相違出來者、本直之錢文加壹倍可令
返進者也トアルガ如シ。又自己ノ所有セル他ノ
土地ヲ買主ニ與ヘンコトヲ保證セルモアリ。同
人ガ前記ト同日ノ日附ニテ、所奉賣渡之河副垣
内若相違出來者、以しやうこう田貳段可辨進云
々トイヘルガ如シ。妙本寺文書ニ收ムル康元三
年閏二月二十八日比丘尼明知ノ賣券ニ、若此地
に子細候ハ、此狀をさきとして御さた候はんに
子細あるヲじく候、若異沙汰なる事候ハ、本の
用途にて候へ、又別の地にても候へ、いそきノ
沙汰仕候へく候ト見ユルハコレヲイフナリ。
然ルニコ、ニ注意スベキハ是等ノ賣券ガ凡ソ
建長年代ヨリ本直返納ノ保證寧ロ普通トナリ
テ、コレナキハ稀レナルニ至リ、コレヲ既往ニ
比シテ兩者ノ地位ヲ轉倒セルガ如キ觀アルノミ

ナラズ、賣買契約ノ缺陷ニ對スル擔保トシテ從來ヨリハ一層強キ意味ヲ含メルモノ多キコト是ナリ。此變調ハ經濟界ニ不安ノ空氣ノ漲ルアリテ取引上信用ノ缺欠ヲ來シ金融ノ圓滑ヲ缺クニ至リシ反影ナラントハ何人モ想像シ得ベキトロナリ。而シテ經濟界ノ變調ハ多年ノ隋力ニ依ルノ外、コレニ依リテ窮乏ヲ來タセル御家人ニ向ツテ幕府ガ救濟策ヲ誤リシコトモ確カニ其一因タリシヲ否定スベカラズ。

幕府ハ文永四年御家人ノ所領ヲ質入・賣買スルヲ無效トシ、買主ガ御家人ナル場合ハ本物(本直)ヲ以テコレヲ質戻サシメ、非御家人ナル場合ハ無償ニテ取戻サシムルコトトシタリ。本物返納ノ擔保ハ賣買ノ目的物ニ缺陷アリシ場合ニ限ラレタルモノナリシニ、本令ハ只御家人ナル特殊階級ノ保護ノ爲メ所領ノ質入・賣買其者ヲ否認シ、強制的本物取戻ヲ命ゼシモノナレバ、密ニ買主ニ向ツテ損害ヲ被ラシメシノミナラズ、延イテハ賣買取引ノ危險ヲ感ゼシメテ一般經濟界ノ不安ヲ醸シシコト言フ迄モナカラン。本令

ハ其後(本令施行ノ翌年ナルベシ)修正ヲ經テ、買主ガ將軍ノ安堵ノ下文若シクハ下知狀ヲ有セズ、且ツ知行後二十年ヲ經過セルモノニ限リテ適用セラルルコトトナリ、文永七年ニハ質入・賣買ノ禁解除セラレタルモ、而カモ債權者側ノ警戒ハコレニ依リテ遽ニ弛ベラルベキモノニアラズ、其影響ハ賣買契約ノ擔保ニ現ハレタリ。

高野山文書又續實簡集ニ收ムル文永九年四月十七日忌部包近ノ賣券ニ、但後日若相違事出來之時者、以本直六石無一粒懈怠可奉返アルハ前記ノ本直返納ノ擔保ナガラ其文意ヲ強メタル點ニ注意スベシ。同書ニハ別ニ本直ヲ辨償シ難キ場合ニ他ノ所領ヲ差押フベシトイヘルモアリ、弘安元年十二月五日伴友正ノ賣券ニ、但於此地相違出來之時者、可奉辨本直物、有若本直物遅々之時者、可奉被押友正名内此地分限程(一段)者也ト見ユルモノ是ナリ。又本直以上ニ何程カ加ヘテ辨償セントイヘルモアリ、同書弘安八年正月晦日覺滿ノ賣券ニ若有相違者可奉返進本直米柒斛肆斗ニ六斗米ヲ加テ都合八石ノ米者

也ト見ユルモノ是ナリ。本直錢ニ一定ノ利子ヲ加ヘテ辨償セントイヘルモアリ、勸修寺文書弘安十年十一月二十二日僧教悟ノ賣券ニ、雖然若後日於遠亂妨出來者、可致其明、若不明得者、本直錢ニ加貫別五十文宛利分不日可辨償之ト見ユルモノ是ナリ。

是時ニ當リテ早クモ永仁德政以後ノ賣券ニ見ルガ如キ德政擔保ノ文言ヲ、縱シ普通ノ場合ニハアラザリシニモセヨ、コレヲ賣券中ニ見出し得タリシハ注意スベキコトナリ。中田法學博士ガ國家學會雜誌第三十卷第十一號掲載「德政ノ起源ニ就テ」中ニ引用セラレタル香取文書纂文永十一年三月七日ノ賣券ニ、たゞしこのたにをいてかみより御しきもくなりたり候て、ゑないち本主にかへるへしと候ども、このたにをきては、をそれしこしきもくをそむきかへし給へからす候ト見ユルモノ是ナリ。只ココニ本主にかへるへしトアルハ所謂德政文言ト同一ナリトテ必ズシモ意義迄同一ナリトスベカラズ。御家人間ノ賣買ノ場合ハ其本直ヲ以テ取戻スベキ

モノニシテ、永仁德政ノ如ク無償取戻ヲ許サズ、ソレスラヤガテ適用ノ餘地少キ迄ニ制限ヲ加ヘラレテ又間モナク撤廢セラレシナリ。而シテ永仁德政令ト全ク同一ナル場合ハ單ニ御家人及ビ非御家人間ノ賣買ニ限ラレ、而カモンハ既ニ延應二年(永仁五年ヨリ五十七年前、文永四年ヨリハ二十七年前)ノ追加ニ制定セラレシコトアルヲ記セザルベカラズ。是等ノ點ニツイテハ余輩別ニ國民經濟雜誌ニ連載中ナル「德政ノ研究」ニ於テコレヲ詳論スベシ。